

徳島県那賀町工業用水道事業の紹介

○事業の主旨

那賀町は徳島県南西部の中山間地域にある。剣山南麓を源とする那賀川と坂州木頭川が流れ、両河川は旧上那賀町内で合流して地域のほぼ中央を西から東に貫流している。

那賀町東部に位置する旧鷺敷町では、若年層の定住・雇用対策として工業団地の整備計画を進め、食品・医薬品製造業等の二社を誘致し、平成5年度には操業が開始された。旧鷺敷町は、このわじき工業団地へ工業用水を供給するため平成3年より建設に着手し、平成5年4月より供給を開始したものである。

平成17年3月1日町村合併により、那賀町に引継がれた。

○事業の経緯

徳島県南部山間地域においては人口の減少が顕著であり、若者の都市部への流出等により地域の活力低下が懸念されている。そのため那賀町東部に位置する旧鷺敷町では、若年層の定住・雇用対策として工業団地の整備計画を進め2社を誘致、平成5年度には操業が開始された。旧鷺敷町工業用水道事業は、このわじき工業団地へ工業用水を供給するため平成3年1月より建設に着手し、同年5月に完成、平成5年4月より供給を開始したものである。

その後既存工業団地に隣接し約12haの工業団地を拡張し新規企業の誘致を図っているため、新たな水源確保延いては工業用水の安定供給が早急の課題となっており、平成16年度には井戸取水施設の整備を行い、平成17年4月より運用を開始している。

平成17年3月1日町村合併により、那賀町に引継がれた。

○ユーザーの概要

(平成20年3月末現在)

業種	給水件数	契約水量
食品・医薬品製造業	1社	2,340m ³ /日
プラスチック製品製造業	1社	100m ³ /日
合計	2社	2,440m ³ /日

○施設の概要

那賀町は県南西部の中山間地域に位置する。本町の工業用水道事業は、町のほぼ中央を西から東に貫流する那賀川の表流水を取水し、原水を給水先の2社へ直接供給している。原水の処理は供給先企業の処理施設で行っている。

供給状況としては、給水能力、契約給水量ともに日量2,440m³であり、責任水量2,440m³まで32円/m³、超過料金64円/m³としている。

○事業の特徴、アピール等（わじき工業団地）

那賀町では現在、町東部のわじき工業団地を分譲しています。製造業（電気機械・精密機械・金属・食品・その他の製造業）、ソフトウェア業、民間研究所を対象とした工業団地です。わじき工業団地へ企業が工場を新設した場合には、【わじき工業団地企業立地促進要綱】の奨励措置による奨励金の交付を受けることができます。



那賀町工業用水道事業概要図

